

平成29年9月30日

本荘高校同窓会創設110周年記念式典挨拶

秋田県立本荘高等学校 校長 今井 智幸

本荘高校同窓会創設110周年をお祝いして

秋田県立本荘高等学校同窓会創設110周年記念式典が盛大に挙行されますことに、心よりお祝いとお喜びを申し上げます。

明治35年、県下第4番目の中学校として秋田県立本荘中学校が創立され、第1期生41名が母校を巣立った明治40年、旧制中学では県内で最初の同窓会が発足しました。明治、大正、昭和、平成という時代の変遷の中で、定時制課程の併設、各分校の開設、商業科の新設等、時代の教育的使命を担い果たしながら、本校の歴史と伝統は築き上げられてきました。

この間、卒業生は3万人近くにのぼり、ここ秋田はもとより国内外のあらゆる分野で活躍する人材が巣立っています。1期の卒業生から続いたきたこれまでの同窓生たちのご活躍は、在校生に大きな励みと勇気を与えるものとなっています。時にさまざまな困難や試練を乗り越え、夢や希望を実現した同窓生の方々の生き方、そして未来の創り手となり、社会に貢献することで人生を豊かなもにした同窓生の方々の人生の在り方は、これから自己の人生を創り上げていく在校生にとって揺るぎない力となることを確信しています。

また、多くの同窓生の方々の熱意とご努力により、「東京同窓会」が昭和10年、「秋田支部」が昭和33年、「庄内支部」が昭和42年、「関西支部」が昭和62年、「北海道支部」が平成2年、「仙台支部」が平成3年に、それぞれ設立され歴代の各支部長のご尽力により今日に至っております。

「右文尚武」「質実剛健」「玲瓏同氣」の校標の下、ふるさと秋田の未来、そして21世紀という時代を拓き、社会に貢献する有為な人材の育成に努める教育理念は、激動の未来が予想されている現代こそ、その重要性を増しています。本校の今年度の教育方針である「未来を切り拓く人間力や社会に貢献する人材の育成」、そして一回性の人生を「志高く未来に向かって豊かに自己実現を果たそうとする」教育の充実に、今後とも取り組んでいく所存です。

これまで本校の発展に御尽力くださいました歴代同窓会長をはじめ、同窓会員の皆様に深く感謝の意を表するとともに、同窓会の益々の発展と会員皆様のご健勝を祈念し、お祝いの言葉といたします。